

身近な植物でできる♪

草木染め

～高部こども園でやってみました～



こんなステキな作品ができるかも!?



生きもの元氣通信 vol. 2 (令和4年9月発行)

監修：静岡市環境学習指導員・竹内佐枝子

参考資料：幼児期における環境プログラムの開発に関する研究 (常葉大学 中村俊哉)

せいぶつたようせい

「生物多様性」とのかかわり

現代の私たちの洋服などは、化学染料で染めているものが多いですが、天然の植物の葉や実などからとった染料で染める方法を「草木染め」と言います。

子ども達が昔ながらの草木染めを体験することによって、「植物から色が染められること」に気づき、「自然の恵み」を五感で味わうことができます。

ぜひ、子ども達の身の周りの植物で、草木染めをやってみましょう!!

いろいろな植物で染められます!

草花だけでなく、食べ物の皮でも染めることができます。

どんな色になるのか色々試してみましょう!

※布や媒染液の種類によっても染め色は変わります。

【草花】

- ・タンポポ → 黄色
- ・マリーゴールド → 黄色
- ・藍 → 青色

【食べ物】

- ・たまねぎの皮 → 黄色
- ・ヨモギの葉 → 若草色
- ・アボカドの皮 → ピンク



染めやすい材料としては「たまねぎの皮」がおすすめ♪色が濃く染まるので模様がハッキリ出やすいのと、捨ててしまう皮を有効活用できます。

こども園での活用アイデア

- ・バンダナを染めて、遠足などの目印に。
- ・手ぬぐいやTシャツを染めて、運動会や夏祭りで着る。
- ・花壇のお花や、畑で収穫した野菜を使って染める。



色水遊びで、「色が落ちてしまう」という子どもの声から、「色が落ちない方法があるよ!」と草木染めにつなげていくのも◎

プログラム例

対象年齢 5歳児

所要時間 1.5~2時間くらい ※別途、事前準備あり

園児の人数 30人(10人ずつのグループに分けて実施)

事前準備

用意するもの

染める布(木綿などの植物性のもの)

(例)ハンカチ、手ぬぐい、Tシャツ

※誰の作品かわかるように、「はぎれ布に名前を書いたものをホチキスなどで留めておく」か、「布にペンで名前を書いておく」ようにしましょう。

染める材料(玉ねぎの皮など)…染める布と同じくらいの重さ

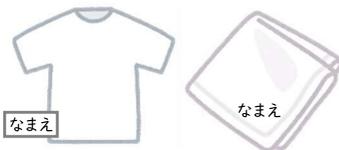
※材料は種類を混ぜないで、1種類にするとキレイに染まります。

はさみ

輪ゴム

豆乳液または柔軟剤

三角コーナーのネット



ビワの葉

高部こども園では、園庭の**ビワの葉**を使いました。

また、子ども達が「葉を細かく切る作業」を行い、身近な植物から草木染めをする体験をしました!



染める前日までにやっておきましょう!

事前準備

事前準備

① 布に豆乳液をひたして干す

布を染まりやすくするために、植物性のたんぱく質(豆乳)にひたし、天気の良い日に干しておく。

<やり方>

- ・豆乳:水=1:1の割合にしたものに20分ぐらい布をひたす。
※時々かき回して定着させる。
- ・洗い流さずにそのまま干す



水に溶いた**柔軟剤**で代用もOK



事前準備

② 葉を細かく切りネットに詰める

① 染める材料を細かく切り、三角コーナーのネットに詰める。

※細かく刻むと色が出やすい



② ネットの口は輪ゴムで結んでおく。



当日は↑のように鍋に入れます

~いよいよ草木染め!~ 当日の流れ

当日 用意するもの

- 大きめの鍋3つ ※ステンレスかホーロー
- コンロ3つ
- 軍手やミトン
- バケツ3つ
- 菜箸

【媒染液(ミョウバン液)】

- 大きめのボウル3つ
- 焼ミョウバン(30g)
- ➔ボウルに50度くらいのお湯を入れ、焼ミョウバンを溶かしておく
(水1リットルに対し、約5gの焼きミョウバンを使用)

【模様付け用】

- 輪ゴム
- ペットボトルのキャップ
- ビー玉
- 割り箸

1 葉を煮出して染液をつくる



鍋にお湯を沸かし、
「事前準備②」で作った葉を
入れて煮出す。
(30分~40分)

※鍋に蓋をしておく

どんな色になるのかな?

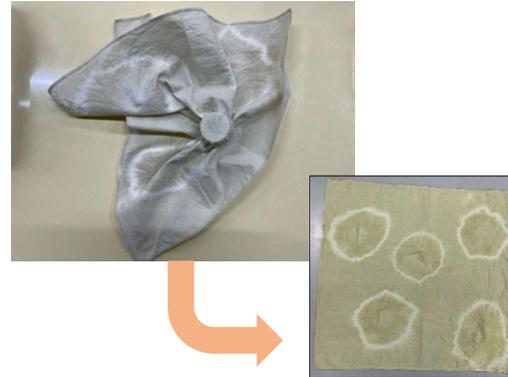


2 布に模様をつける

①で煮出している間に、子ども達が布に模様をつける。
※輪ゴムでしばったところが「白い模様」になります!

【水玉もよう】

ペットボトルのキャップを、
輪ゴムでしばる



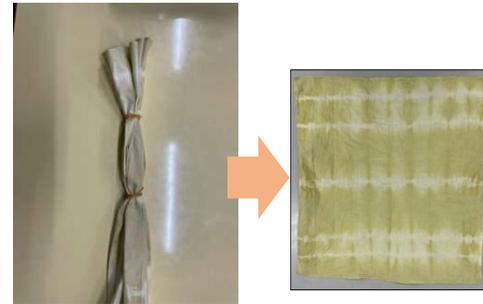
【大小の水玉】

・布のはじっこを一つ結びする
・ビー玉を輪ゴムでしばる



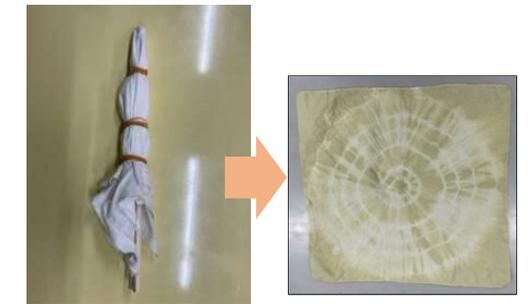
【ボーダー】

布をじゃばら折りにし、
輪ゴムで数か所しばる



【花火もよう】

割り箸を布でつつみ、
輪ゴムで数か所しばる



どんな模様になるのかな?

しばるの難しい...(><)

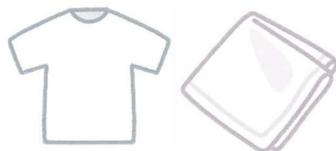
お手伝いしようか?



3 ②の布を染液の入った鍋で煮る



- ・鍋から葉を取り出し、バケツに移す。
- ・②で模様付けをした布を鍋に入れて煮る。(15分~30分)
※1つの鍋に入れるハンカチは、染液に浸かる程度が目安
- ・菜箸で時々かき混ぜる。



※火を使うところは危ないので、先生が行うようにしましょう。

4 ③の布を媒染液につける



- ・鍋から菜箸で布を取り出し、布を冷ます。
- ・布を絞り、ボウルに入れた媒染液(ミョウバン液)につける。(15分位)

※媒染液(ミョウバン液)は、布にしっかり色が染まるために使います。

5 再び、染液につける

- ・④で媒染液につけている間に、③の染液に再び葉を入れて煮る。(15分位)
- ・葉を取り出し、再び布を③の鍋に入れて煮る。(15分~30分)
- ※③④を繰り返すと、より濃く染まります。

6 布を水洗いし、干したら完成

- ・ボウルから布を取り出し、絞ってから水洗いする。
- ・布が冷めたら、子ども達が輪ゴムなどを外し、布を室内に干す。
※陽の光で色落ちしやすいため、室内干しがおすすめ



模様ができてる~^^)



お友達と模様や色を比べてみよう

＼取組の様子を動画でもご覧いただけます／



静岡市公式YouTubeチャンネル
「生きもの元気通信」で検索

- ◆バックナンバーは、「生きもの元気通信 静岡市」で検索するとご覧いただけます。
- ◆感想や要望などの御意見もお待ちしています♪

～お問い合わせ先～
静岡市環境創造課 自然ふれあい係(☎:054-221-1319)